

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 M-54

申請日	2026/6/3	承認日	2026/6/10	委員長	印
レジメン登録日	2026/6/10	仮承認日		承認者	印

Eribulin+PerTra(sc)	病名	乳癌	外科	提出医	Dr
対象	HER2陽性の手術不能または再発乳癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)															
			1	5	8	10	15	20	25	30								
フェスゴ配合皮下注IN(Per+Tra)	Per1200mg+Tra600mg/body	SC	○															
フェスゴ配合皮下注MA(Per+Tra)	Per600mg+Tra600mg/body	SC											○					
ハラヴェン (エリブリン)	1.4mg/m ²	div	○		○								○					○

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース

【投与処方例 (前投薬など)】

※フェスゴは「IN」=初回導入、「MA」=維持投与量であり、規格注意。

Day1(初回量)

- ① フェスゴ配合皮下注IN /皮下注 8分(大腿部に)
終了後、30分間経過を観察し、②を開始すること！

- ② メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ③ メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg /div 30分
- ④ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL+ハラヴェン /div(閉鎖) 5分

Day8

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg / div 30分
- ③ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL+ハラヴェン /div(閉鎖) 5分

Day1(2コース目以降の維持量)

- ① フェスゴ配合皮下注MA /皮下注 5分(大腿部に)
終了後、15分間経過を観察し、②を開始すること！
- ② メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ③ メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg /div 30分
- ④ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL+ハラヴェン /div(閉鎖) 5分

【肝機能障害による減量基準】

※ハラヴェン Child-Pugh分類A : 1.1mg/m²
Child-Pugh分類B : 0.7mg/m²

【腎機能障害による減量基準】

※ハラヴェン Ccr15~49mL/min : 1.1mg/m²

Ccr<15：推奨なし

【副作用による減量基準】

好中球<500/ μ L、FN発症、血小板<2.5万/ μ Lもしくは輸血を要する血小板減少、非血液毒性G3の場合
改善後に、ハラヴェンは1段階減量

1段階減量：1.1mg/m²

2段階減量：0.7mg/m²

【投与間隔と投与量について】

- ・ 前回投与日より6週間未満の時、フェスゴMA(維持投与量)を投与する。
- ・ 前回投与日より6週間以上の時、フェスゴIN(初回導入)を投与し、次回以降にフェスゴMAを投与する。

【ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivからの切り替えについて】

- ・ ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの投与日より6週間未満の時、フェスゴMA(維持投与量)を投与する。
- ・ ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの投与日より6週間以上の時、フェスゴIN(初回導入)を投与し、次回以降にフェスゴMAを投与すること。

【フェスゴからペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの切り替えについて】

- ・ フェスゴの直近投与日より6週間未満の時、維持投与量のPer420mg+Tra6mg/kgを投与する。
- ・ フェスゴの直近投与日より6週間以上の時、初回投与量のPer840mg+Tra8mg/kgを投与する。
次回以降はPer+Traは維持量で投与すること。

参考資料：フェスゴ電子添文、インタビューフォーム、適正使用ガイド